

多品種少量生産の製造業における生産計画の最適化

生産工程における人やモノの各種データを収集・分析することで、生産効率の向上を実現します。

顧客ニーズの多様化や急速なデジタル化の進展、グローバル競争の激化により、多品種少量生産においても、大量生産並みの生産性を実現するマスカスタマイゼーションへの対応が求められています。RFIDの活用で、生産工程の進捗をリアルタイムに把握。作業者の様子とモノの動態データを分析し、より精度の高い生産計画の立案を支援します。


 製造業

課題

Challenges

生産効率を向上したい

- 多品種少量生産において、生産効率を向上したい。
- 生産工程の進捗をリアルタイムに把握したい。

ソリューション

Solutions

各種データの収集・分析で 生産工程を効率化

RFIDの活用で、人・モノ・設備の動態をリアルタイムに把握し、遅延発生時の迅速な対応を可能にします。また、生産工程における作業者の様子や部品の動態データを分析し、ボトルネックになっている生産工程を検出。生産工程の改善を行い、改善結果を製品設計にフィードバックし、より精度の高い生産計画の立案を支援します。

特長

Features

人やモノのデータを分析し 生産工程の問題点を可視化

多品種少量生産の製造業での実績があります。
3DCADを活用した作業指示で作業品質を向上させるとともに、作業の様子を記録した動画を確認・分析することで、問題点を可視化できます。
蓄積した改善結果から人員・モノなど、リソースの最適配分が可能になります。

効果 Outcomes

生産リードタイム 50%短縮

多品種少量生産の製造業における生産計画の最適化

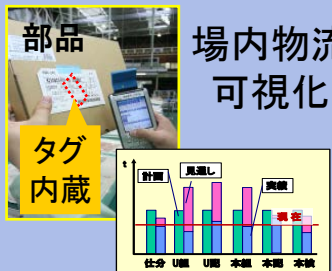
生産工程における人やモノの各種データを収集・分析することで、生産効率の向上を実現します。

導入実績：株式会社日立製作所 大みか事業所

Think

進捗・稼動監視システム (RFID生産監視)

人とモノの動態監視
場内物流
可視化



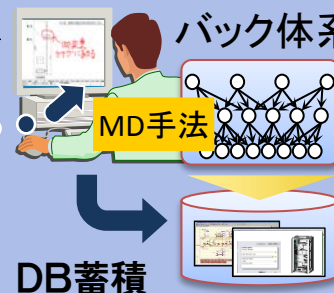
作業改善支援システム

ボトルネック作業分析・対策



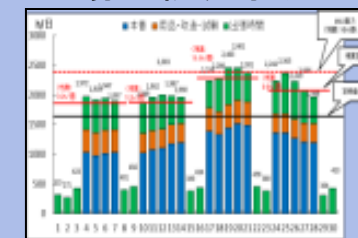
モジュラー設計

迅速な設計フィード
バック体系



工場シミュレーター

対策工程立案
場内物流予測



Sense

Act

大みか事業所
生産ライン

